

九州運輸局メールマガジン 平成27年8月6日 第312号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けいたします。

次回発行日は平成27年8月20日(木)です。

目次

1 現場レポート

・自動車無事故表彰(特別表彰)式を執り行いました～平成27年度第1回自動車運送事業者自動車無事故表彰～

・ご当地ナンバー「奄美」をPR～奄美大島の夏の風物詩「舟こぎ競争」で実況中継されました～

・水上オートバイの合同安全パトロールを実施～安全運航の指導及び海難防止思想の普及とマナーアップに向けて～

「海フェスタくまもと」特集

・『シンポジウム』で九州のクルーズ船誘致戦略を討論～「クルーズ・シンポジウム in くまもと」を開催～

・熊本の小学生が高齢者疑似体験と車いす体験～バリアフリー教室を開催～

・ヨットで有明海を快走～「みすみ港祭り」でヨットクルーズ～

・たくさんの方々のご来場、ありがとうございました～来年は愛知県東三河の8市町村で開催～

2 九州運輸局ホームページアップ情報(7月23日～8月5日掲載分)

1 現場レポート

自動車無事故表彰(特別表彰)式を執り行いました

～平成27年度第1回自動車運送事業者自動車無事故表彰～

7月31日九州運輸局局長室において、平成27年度第1回自動車運送事業者自動車無事故表彰(特別表彰)式を執り行いました。

自動車運送事業者自動車無事故表彰は、自動車運送事業者において所定期間中にその責任に属する自動車事故がなく、かつ運輸業務の成績が優良であった事業者に対し表彰するもので、特に一般表彰の連続回数が4回に達し、かつ、運輸業務の成績が特に優秀であった事業者に対しては特別表彰を行うものです。

今回は平成18年以降連続4回の8年にわたり運輸業務の成績が優秀であった有明交通株式会社(バス事業:福岡県柳川市)が、特別表彰を受賞されました。

表彰式では、竹田九州運輸局長より同社の小宮琢士代表取締役へ表彰状が授与され、関係各部長からお祝いの拍手が送られました。

小宮代表取締役からは、「運行管理は非常に大変な業務ですが、今後とも全社員と協力しながら無事故を続けていけるよう頑張っていきたい。」と引き続きの安全運行の決意を込めた謝辞が述べられました。

表彰式の模様は、下記URLからご覧頂けます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_312_1.pdf

(自動車技術安全部 保安・環境課)

ご当地ナンバー「奄美」をPR
～奄美大島の夏の風物詩「舟こぎ競争」で実況中継されました～

夏の風物詩として、祭りのひと月前ぐらいになると、シマの海岸では、舟こぎの練習が始ります。板付け舟と呼ばれる小さな木の舟にこぎ手7人が乗り込み、それぞれのかげ声に合わせて一心不乱にこぎまわります。

毎年、奄美では島内最大の夏のイベントとして、島唄や花火大会、奄美の伝統的な八月踊りなど、多彩な催しで賑わう中の一つに舟こぎ競争があります。

今年、8月1日(土)に奄美自動車検査登録事務所、名瀬財務事務所、軽自動車検査協会で結成したチーム「陸名軽会(りくならけいかい)」(名瀬海運支局がメンバーであった当時は「陸名軽海」というチーム名でした)で26年連続で参加していますが、今年も数回の練習を行い、気合い十分で参戦しました。

舟こぎ競争中の実況中継では、「世界遺産登録の気運も高まる中、奄美ナンバーは島っちゅの誇り、愛着を象徴する地域ブランドとして、車にも島の心を乗せて走りましょう。奄美ナンバーで、海外や奄美群島以外から来られた方々をお迎えしましょう。」などのアナウンスをしてもらいました。

澄み切ったマリンブルーの海で力の限り漕いだのですが、健闘むなしく4艘中最下位で予選敗退となりました。準決勝に進めば更に「奄美ナンバー普及促進のPR」ができたのですが...(上位2チームが準決へ)

舟こぎは、シンプルだが奥が深く、7人の結束力と技術力、圧倒的な練習量がものをいいます。速いチームになればなるほど、一糸乱れぬそのこぎ姿は惚れ惚れするほど美しく、舟こぎで優勝したとなると、島では何よりもカッコいい勲章です。

舟こぎ競争はまちがいなく、島っちゅが夏で一番熱く燃える一日です!

舟こぎ競争は次のURLからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_312_2.pdf
(奄美自動車検査登録事務所)

水上オートバイの合同安全パトロールを実施
～安全運航の指導及び海難防止思想の普及とマナーアップに向けて～

水上オートバイ(パーソナル・ウォーター・クラフト(略してPWC))は、一般的なプレジャーボートと比べて、低価格性、保管の容易性(自宅保管も可能)、容易な操作性を有し、高速航行によるスピード感覚が若者の嗜好と合っていること等から、若者を中心に普及していますが、一方でモラルが低い操縦者による漁業従事者、海水浴客等とのトラブルも多く、今後の振興を図るうえで多くの課題となっているところ です。

こうした中、PW安全協会中国地方本部(PWCメーカーや販売店で構成されるPWC操縦者の安全啓発を目的とした団体)の呼びかけにより、8月2日(日)下関市内の海水浴場で合同パトロールを実施しました。

当日は、下関海事事務所職員2名の外、門司海上保安部、小串警察署、小型船舶検査機構(JCI)下関支部など官民合わせて7機関総勢20名が参加し、また、沖合には門司海上保安部の巡視船が待機するという、かつてない大掛かりなものとなりました。

パトロールは、PWCに乗った洋上班と陸上からの陸行班の2手に分かれ、PWCの操縦者にリーフレットを手渡し、安全航行と小型船舶操縦者遵守事項の徹底を指導するというものです。

こうした大掛かりな連携は今回が初めてということで、出発前に参加者全員で出陣式を行い、梅雨明け早々の真夏日、海水浴客でごった返す土井ヶ浜海水浴場と角島コバルトビーチへ向かいました。なお、下関海事事務所は陸行班での参加です。

海水浴場ではPWC操縦者に対し指導を行い、操縦者からも「安全航行を行う」との誓約をもらうなど一定の成果はあったものの、PWCの隻数が思ったより少なく期待通りとはいきませんでした。今回の合同パトロールを通じて、関係機関が連携した取り組みの重要性と、とかく苦情の多いモラルの低い操縦者への今後の対策の第一歩になったのではないかと感じるところです。

パトロールの様子は次のURLからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_312_3.pdf

(下関海事事務所)

海フェスタくまもと特集

『シンポジウム』で九州のクルーズ船誘致戦略を討論
～「クルーズ・シンポジウム in くまもと」を開催～

「九州クルーズ振興協議会」は、熊本で開催された「海フェスタくまもと」の一環として、7月27日に熊本市の「くまもと森都心プラザ」で「クルーズ・シンポジウム in くまもと」を開催しました。

同協議会は、2003年にクルーズ会社や関係団体、九州各地の自治体そして国の行政機関により設立され、九州におけるクルーズ振興に向けた活動を行っているものです。

同日の午前中には、九州クルーズ振興協議会の総会が開催され、今後の中期的な活動方針等を承認しました。その後、同協議会の会員、地方自治体・企業関係者・市民等約120人がシンポジウムに参加し、関心の高さが伺われました。

まず、主催者を代表して同協議会の会長田中浩二氏からの挨拶、引き続き大阪大学の池田良穂特認教授から「最近のクルーズ事情と九州のとるべき戦略」と題して、豊富な乗船体験を交えながらクルーズの魅力や誘致戦略を分かりやすく講演いただきました。

その後のパネルディスカッションでは、(株)カーニバル・ジャパンの木島社長から日本寄港計画の見通し・戦略を、商船三井客船(株)の山口常務からは日本人クルーズ旅行の展望について発表があり、更に両船社から九州各港への寄港や配船を継続・増加するための課題についても提言がありました。

植松熊本副市長と朝長佐世保市長からは、両市の紹介とクルーズ船の寄港状況や誘致の現状、受入環境整備に関する取り組みなどの発表がありました。

九州運輸局からは榎本観光部長が、九州運輸局の観光政策、クルーズ船誘致に関わる政策、クルーズ船誘致に向けた解決すべき課題、更には九州における船旅の振興等について発表しました。

クルーズ旅行は、大型船によるカジュアル化の進展により、一般市民が気軽に楽し

めるレジャーのひとつとなってきました。九州クルーズ振興協議会では、今回のようなイベントを通してクルーズ旅行の魅力を発信し、これからもクルーズ人口の拡大に向けた取り組みを行っていききたいと思います。

シンポジウムの模様は、下記URLからご覧頂けます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_312_4.pdf

(九州クルーズ振興協議会(事務局:九州運輸局海事振興部))

熊本の小学生が高齢者疑似体験と車いす体験

～バリアフリー教室を開催～

九州運輸局と熊本運輸支局は、7月18日～8月2日に開催の「海フェスタくまもと」にあわせて7月25日(土)に熊本港(熊本市西区新港)において、熊本市立田迎西小学校の4～6年生18名を対象に、九州産交バス株式会社のご協力のもと、バスを利用したバリアフリー教室(高齢者疑似体験、車いす体験)を開催しました。

まず最初に、九州産交バスから、バスの乗り方や利用する時の注意点について、紙芝居などを使っておもしろく分かりやすい説明があり、その中で本年4月から運用開始した「くまモンのIC CARD」(熊本地域振興ICカード)の利用の仕方も実践しました。その後、バスの外に出てバリアフリー体験の実技を行いました。車いす体験では、車いすの操作方法などを学び、スロープを使用してバスに乗車し、車いすの固定方法なども学びました。高齢者疑似体験では、肘や膝が曲がりにくくなるサポーターや手首足首用のおもりなどの体験用セットを装着して、杖を使って歩き、バスへの乗降や、動きの大変さを体験しました。

今回参加したのは、夏休み中の土曜日にもかかわらず自ら希望して参加してくれた18名で、早朝から学校に集合し、強い日差しで非常に暑い中、バリアフリー教室前に開催されたコンテナヤード見学会から、長時間にもかかわらず一生懸命取り組んでくれました。参加した児童からは、「以前も高齢者疑似体験をしたことがあったが、改めて高齢者の方は大変だと感じた」、「これからは、高齢者の方に席を譲りたい」との感想がありました。

今後も九州運輸局では、このような取り組みを通じて、公共交通機関の活性化や物流への理解、そして「心のバリアフリー」の推進に努めてまいります。

バリアフリー教室の模様は、下記URLからご覧頂けます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_312_5.pdf

(交通政策部消費者行政・情報課、熊本運輸支局)

ヨットで有明海を快走

～「みすみ港祭り」でヨットクルーズ～

平成27年7月25日(土)宇城市三角町の「海フェスタくまもと 海の日協賛・みすみ港祭り」において、宇城市、小型船舶検査機構三角支部及び波多セーリングクラブの協力を得て「ヨットクルーズ(乗船体験)」を実施しました。

このクルーズイベントは、「みすみ港祭り」では初めて行われるため、当運輸支局

が実行委員会へ祭りのプログラム追加のお願いや三角港長へ航路使用の許可を取得したり、旅客船事業者及び地元漁協、港湾管理事務所へ了解を求めたりと奔走しました。

当日、三角東港は台風12号が接近していた関係で、北よりの風が若干強かったものの夏空の快晴に恵まれ、全5艇のヨットが午後1時30分に三角港旅客船浮桟橋に接舷しました。

乗船会は、午後1時から受付、西村次長の挨拶に始まり、乗船時の注意事項を説明した後、午後1時45分より乗船開始となりました。1艇あたり約8人の乗船で、船長と乗客5人、補助員2人の乗組みです。(筆者、ヨット初乗船です。)

参加者のほぼ全員が初めてのヨット乗船であったため、「やっぱ怖いなぁ〜」「揺れるんじゃないか」「どのくらいの速力だろう」など不安と期待が入り混じった様子でした。

午後2時、全員ライフジャケットを着用していよいよ出港、目指すは有明海！ウクゾウ君(某運航・船舶担当対応)も手(足?)を振って見送りです。

三角港(際崎)の旅客ターミナル(通称:三角ピラミッド)を出港してから天草五橋一号橋を通過すれば、世界産業遺産に登録された「三角西港」が見えてきます。速力を落として岸壁近くまで寄せてもらおうと、100年以上経過しても形状が変わらない特殊な石積みを海側からゆっくり眺めることができました。三角西港には多くの観光客が訪れており、時折手を振って応えてくれました。

さらに各艇は、三角航路口に鎮座する中神島を右舷に見ながら、さあ!その先有明海に出てエンジンを切って帆走だ!と思ったのですが...。さっきまで吹いていた強めの風はなぜか弱まり、そよ風程度になってきました。「台風はどうした...風よ吹け。」どうにか帆走させようと船長が風を掴もうと試行錯誤しますが、無風状態となつては為す術がありません。結局帆を張ったままエンジン航行となりましたが、やはりヨットは風が頼りであるとまさに実感しました。

自然のアクシデントもありましたが有明海を満喫した後、もう一度三角西港を眺め帰港となりました。一時間弱のクルーズでしたが、参加者はみな大満足の様子でした。海面の照り返しもあり日焼けをした方が多かったようですが、幸いにも揺れが少なかったおかげで体調を崩す方はいなかったのも、きっとヨットに目覚めてくれたとの期待も。

でも次にヨットに乗る機会があれば、気持ちいい帆走を味わいたいなぁ〜。

ヨットクルーズの様子は、次のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_312_6.pdf
(熊本運輸支局)

たくさんの方々のご来場、ありがとうございました
~ 来年は愛知県東三河の8市町村で開催 ~

7月18日から8月2日の16日間、熊本市、天草市、玉名市、宇城市、荒尾市、

宇土市、上天草市、長洲町の有明海沿岸の7市1町で開催された「海フェスタくまもと」も盛況のうちに無事終了しました。

初日の開会式に始まり、海の総合展「ARIAKE 8 EXPO」、コンテナヤード見学会、クルーズ・シンポジウム in くまもと、九州運輸コロキウム、海事振興セミナー、練習帆船「海王丸」の一般公開など見どころ満載の「海の祭典」でした。熊本県内外から多くの方々にご来場いただき、広く海に親しんでいただけたと喜んでいきます。

来年の「海フェスタ」は、愛知県東三河の8市町村で開催されます。

最終日の閉会式では実行委員長である大西熊本市長から、次期開催地代表の佐原豊橋市長へフラッグの引き渡しも行われ、来年の開催が楽しみに待たれるところです。

ご来場された皆様方、本当にありがとうございました。

「海フェスタくまもと」のイベントの様子はこちらのURLからどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_312_7.pdf

2 九州運輸局ホームページアップ情報

(7月23日～8月5日掲載分)

--- 報道発表 -----

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- お知らせ -----

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- 総合案内 -----

《業務内容》

消費者行政・情報課（消費者行政レポート平成26年版掲載）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file02b.htm>

バス事業関係公示等（バス事業関係公示等“14”“15”“16”の公示を追加掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file03_4.htm

タクシー事業関係公示等（タクシー事業関係公示等“32”の公示を更新）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13_4.htm

職員採用情報（官庁訪問のご案内（一般職試験（大卒程度試験）「行政」「機械」、
「電気・電子・情報」対象）掲載）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/saiyou/body.htm>

--- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

物品・役務入札公示

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

《九州統計情報》

自動車登録・整備関連（自動車保有台数、新規登録自動車数、燃料別等自動車保有台数 平成27年6月分を追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/body2.htm>

観光関係（県別通訳案内士登録状況平成 26 年 4 月、平成 25 年 4 月、平成 24 年 4 月を掲載）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/body2.htm>

《行政処分状況》

累積違反点数が 20 点を超える事業者の状況はこちら

（一般乗合旅客運送事業者の 20 点超過事業者の更新）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/noriai27cho.htm>

（一般貸切旅客の 20 点超過事業者の更新）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri27cho.htm>

（一般乗用旅客の 20 点超過事業者の更新）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou27cho.htm>

（一般貨物の 20 点超過事業者の更新）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotucho27.htm>

--- 各種手続き-----

《海技試験制度・合格発表》

海技免状等の国家試験（平成 27 年 7 月定期 1 級海技士（航海、機関）、2 級海技士（航海、機関）筆記試験合格発表・口述試験日程発表、2 級（航海・機関）、3 級（航海・機関）、4 級（航海・機関）、5 級（航海・機関）総合合格発表及び 5 級以上の総合合格発表日時掲載）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

--- 分野別情報-----

《公共交通活性化》

将来のビジョン（“平成 27 年度版交通政策白書”へのリンクを記載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/m_koukatsu.html

《バス・タクシー・トラック》

貸切バスの新たな運賃・料金制度について（“貸切バスの新たな運賃・料金制度について”の内容更新）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file26.htm

バス（バスの申請・処分状況 平成 27 年 7 月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/bus_syobun.htm

タクシー（タクシーの申請・処分状況 平成 27 年 7 月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/taxi_syobun.htm

トラック（トラックの申請・処分状況 平成 27 年 7 月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/truck_syobun.htm

--- その他-----

優良運輸事業者の積極的活用について（引越事業者優良認定制度掲載、自動車運

送事業者無事故表彰名簿を更新)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/yuryo.html>

//////// 編集部より //////////////////////////////////////

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本
メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192